

第2次岸田改造内閣

“統一協会隠し”破綻

「政治の中身変わらない」
共産党 小池晃書記局長が記者会見で指摘

日本共産党の小池晃書記局長は10日、国会内で記者会見し、第2次岸田改造内閣について問われ、「岸田首相自身が『骨格は維持する』と言っているように政治の中身自体は全く変わらない」と指摘し、「骨格以外の顔ぶれをいじっただけということではない」と批判しました。



記者会見する小池晃書記局長＝10日、国会内

安倍政治継承 行き詰まり

小池氏は、統一協会の問題、安倍晋三元首相の「国葬」問題、新型コロナウイルス感染症の広がりによって「まさに国政が行き詰まってきた」と強調。「行き詰まり打開をもくろんだ『行き詰まり改造』と言ってもいいのではないかと述べました。

「統一協会隠し失敗内閣」

同時に「統一協会隠しを意図したのだと思うが、組閣直後から加藤勝信氏、山際大志郎氏など、次々と統一協会との関わりが出てきた」と指摘。「もはや自民党は統一協会と関係のない議員では組閣ができない深刻な癒着があるということが逆に証明されたのではないかとして「『統一協会隠し失敗内閣』だ」と批判しました。

臨時国会 早期召集求める

小池氏は、安倍晋三元首相の「国葬」問題、統一協会問題、新型コロナウイルスの感染急拡大を挙げ、「この間、国政をめぐる課題が山積しているなかで、政府・与党は国会をわずか3日間で閉じた」と批判。岸田文雄首相は、開会中には内閣改造をおくびにもださず、国会が終わった途端、いきなり行ったと指摘し、「いよいよ国会での議論が必要になってきている。野党でよく話し合い、共同して、憲法53条に基づき臨時国会の早期召集要求をだしたい」と述べました。

内閣支持率 各紙下落 新聞僚・執行部「評価しない」



「日経」の調査では、新しい閣僚と党執行部の顔ぶれを「評価しない」が44%で「評価する」の30%を上回りました。内閣支持率は57%と1ポイント下落。不支持は3ポイント上昇の35%で、過去最高となりました。



記者会見の動画はこちらから▲

政権追い詰めるたたかいを

統一協会との関係を断ち切らない
岸田内閣の政治を許さない
世論と運動を広げましょう。

日本共産党

東京
民報

ご意見・ご要望は03-5972-1621、FAX03-5972-1590

2022年8月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します

発行/東京民報社（港区芝1-4-9平和会館5階）1965年11月12日第三種郵便物認可